

# Item004(2018)

Distractor

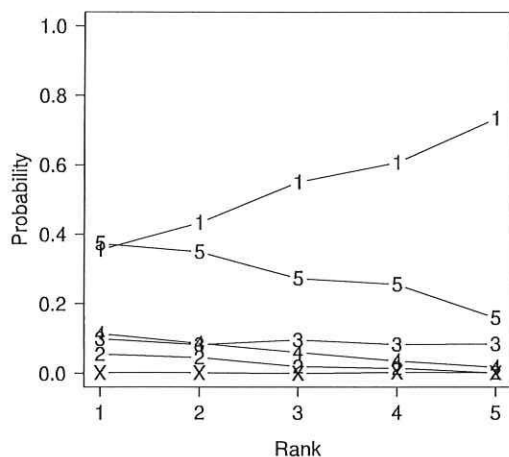
Basic statistics

Item	Item004(2018)
Category	Physical Examination / Procedure
N of Respondents (Year 1 / Year 2)	6118 (3068 / 3050)
Pass-rate (Year 1 / Year 2)	0.537 (0.537 / 0.536)

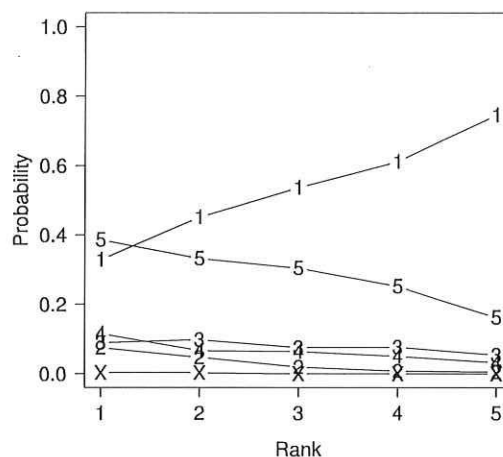
Correlation coefficients

Total score	0.277
Semiology / Clinical Diagnosis	0.145
Physical Examination / Procedure	0.361
Subspecialties	0.165
General Topics	0.046

Item004(2018) (1) #1



Item004(2018) (1) #2



Comments

Wrong choice 5 works as a distracter.

【問題 4】

生来健康な 46 歳男性。左腕のびくつきを主訴として来院した。神経学的所見を含め、身体所見に異常はない。

左上腕の所見を示す。



<http://chilp.it/3ab941a>

【問題 4】

生来健康な 46 歳男性。左腕のびくつきを主訴として来院した。神経学的所見を含め、身体所見に異常はない。

左上腕の所見を示す。



<http://chilp.it/3ab941a>

この所見から想起される疾患はどれか。

- (1) 筋萎縮性側索硬化症 (ALS)
- (2) 抗リン脂質抗体症候群
- (3) Creutzfeldt-Jacob 病
- (4) Parkinson 病
- (5) Lance-Adams 症候群

【正解】

- (1) 筋萎縮性側索硬化症 (ALS)

【解説】

不随意運動を診察する上で最も大切なことは目の前で生じている現象をありのままに記載することだが、一般的に知られている症状には通じている必要がある。

いくつかの分類が試みられているが、運動の出現する部位で分ける方法が比較的わかりやすい

(①筋束のレベルに生じるもの、②個々の筋および少数の筋群を侵すもの、③四肢や体幹レベルの動作)。本例は関節運動を伴わないおそらく単一の筋に生じた不随意的収縮で、『①筋束のレベルに生じるもの』と考えられる。この中には筋線維束性収縮 (Fasciculation) や Myokymia が含まれる。

このような不随意運動をみた際に想起が必要な疾患は、主には下位運動ニューロンの過興奮が問題となる疾患—例えば筋萎縮性側索硬化症 (ALS)、多巣性運動ニューロパチー、Radiation Plexopathy、Isaacs 症候群などである。本例は筋電図で Myokymia が証明された例である。

Myokymia は ALS でみられる筋電図異常の中では比較的低頻度ではあるが、実臨床上しばしば認められるため(1)が正解である。

なお抗リン脂質抗体症候群はしばしば舞蹈病の原因となり、Creutzfeldt-Jacob 病はミオクローヌスが有名である。Parkinson 病は様々な不随意運動を呈しうるが、原著にも記された安静時振戦が代表的なものである。Lance-Adams 症候群は低酸素脳症後に認められる、大脳皮質興奮性に起因する動作性ミオクローヌスとされる。

#### 【参考文献】

- 1) 能勢裕里江, 横田隆徳. 不随意運動. medicina 51:1254-, 2014.
- 2) Whaley NR, Rubin DI. Myokimic discharges in amyotrophic lateral sclerosis (ALS). Muscle Nerve. 41:107-9, 2010.

# Item049(2018)

Low discrimination

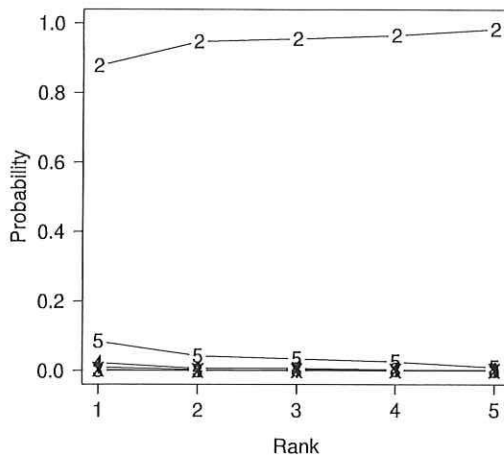
## Basic statistics

Item	Item049(2018)
Category	Subspecialties
N of Respondents (Year 1 / Year 2)	6120 (3071 / 3049)
Pass-rate (Year 1 / Year 2)	0.945 (0.947 / 0.943)

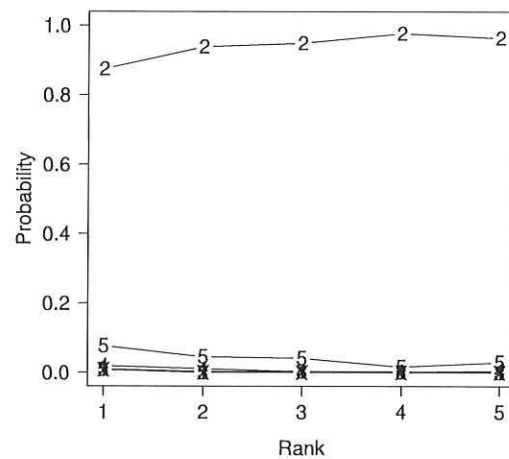
## Correlation coefficients

Total score	0.168
Semiology / Clinical Diagnosis	0.100
Physical Examination / Procedure	0.109
Subspecialties	0.184
General Topics	0.050

Item049(2018) (2) #1



Item049(2018) (2) #2



## Comments

The difference of probabilities of selecting correct choice between rank 5 and rank 1 is below 10pt. (Low discrimination)

### 【問題 49】

新幹線に乗車中、しばらく腹部を抱えていた隣席の女性が強い疼痛を訴えはじめ、児が娩出された。児は弱く啼泣しているが筋緊張は弱い。女性は疼痛が軽減した様であり、意識は清明である。明らかな異常性器出血は認めない。周囲の乗客にはあなた以外に医療関係者はいない。

この状況において、次に行う最も適切な対応はどれか。

- (1) 臍帯は結紮せずに切断する
- (2) 児を刺激し啼泣させ保温する

【問題 49】

新幹線に乗車中、しばらく腹部を抱えていた隣席の女性が強い疼痛を訴えはじめ、児が娩出された。児は弱く啼泣しているが筋緊張は弱い。女性は疼痛が軽減した様であり、意識は清明である。明らかな異常性器出血は認めない。周囲の乗客にはあなた以外に医療関係者はいない。

この状況において、次に行う最も適切な対応はどれか。

- (1) 臍帯は結紮せずに切断する
- (2) 児を刺激し啼泣させ保温する
- (3) 腹部大動脈を経皮的に圧迫する
- (4) 子宮頸部の輪状マッサージを行う
- (5) 子宮底部を圧迫しながら臍帯を牽引し胎盤を娩出させる

【正解】

- (2) 児を刺激し啼泣させ保温する

【解説】

偶然に分娩の現場に遭遇することを想定した問いである。

母体の情報収取を本人から聴取するのは困難であるので、母子手帳から予定日や妊娠中の経過を確認する。児に関しては基本的に NCPR (Neonatal Cardio Pulmonary Resuscitation) のアルゴリズムに沿って対処する。車中分娩では蘇生器具は限られるが、新生児では呼吸と体温の管理が重要である。大きめのタオルを準備し体表の羊水を拭き取って、タオルに包んで保温する。臍帯の結紮はすぐに行う場合と少し時間をおいてから結紮する場合で、どちらが良いか結論は出ていない。結紮せずに臍帯を切断したら児が臍帯から大量出血を起こす可能性があり危険である。母体に関しては、胎盤娩出後の弛緩出血に注意する。分娩第3期の積極的な管理が分娩後の出血のリスクを減らすという報告があるが、この際に胎盤を娩出させる方法としては Brandt-Andrews 胎盤圧出法があり、これは子宮内反症の予防を意図している。子宮底部を圧排しながら胎盤を娩出することは望ましくないとされている。子宮底部の輪状マッサージは子宮の硬さを確認しながら、子宮の収縮を促す有効な手技である。腹部大動脈の圧迫により骨盤内血流の減少させる産褥大量出血への対応の1つであるが、本症例では異常出血を現時点では認めておらず手技の適応はない。

【参考文献】

- 1) 日本周産期・新生児医学会新生児蘇生法委員会委員長 細野茂春. 日本版救急蘇生ガイドライン 2015 に基づく新生児蘇生法テキスト 第3版, MEDICAL VIEW, 2015.